



東北大学

TOHOKU
UNIVERSITY

TOHOKU UNIVERSITY

Press Release

2026年3月30日

報道機関 各位

国立大学法人東北大学

東北大学「ZERO INSTITUTE」 初期スポンサー企業としてポーラ化成工業が参画 ～複数の研究に横断的にアクセスし、有望な研究への早期関与と 事業化を加速～

【発表のポイント】

- ZERO INSTITUTE の初期スポンサー企業に、ポーラ化成工業株式会社が決定
- 従来の「1対1型」の共同研究とは異なる、「N対N型」の連携を実装
- 有望な研究テーマへの早期関与と事業化検証を進め、R&D 変革につながる非連続なイノベーション創出を加速

【概要】

東北大学が2025年9月1日に設置した若手研究者のイノベーション拠点「ZERO INSTITUTE（所在地：宮城県仙台市 責任者：遠山 毅 / 東北大学 理事 産学連携担当）」に、ポーラ化成工業株式会社（本社：神奈川県横浜市、社長：片桐 崇行）がスポンサー企業として参画しました。ポーラ化成工業は、化粧品を中心とした事業を展開するポーラ・オルビスグループにおいて、研究・開発・生産を担う企業です。

スポンサー企業は、ZERO INSTITUTE で実施される、多様な領域の研究プロジェクトへアクセスすることができます。ZERO INSTITUTE は、広範な研究領域での研究シーズの探索や、異分野融合による研究開発（R&D）プロセス・組織の刷新を通して、スポンサー企業の皆様と非連続なイノベーション創出を加速させていきます。

東北大学「ZERO INSTITUTE」

初期スポンサー企業に、ポーラ化成工業が参画

～複数の研究に横断的にアクセスし、有望な研究への早期関与と事業化を加速～

POLA R&M
POLA CHEMICAL INDUSTRIES, INC.



ZERO INSTITUTE

【詳細な説明】

文部科学省「大学等における産学連携等実施状況」によると、大学と民間企業との共同研究金額は年々増加傾向にあります。日本における企業と大学の連携は進んでいますが、研究を社会実装および事業化まで結びつけることには課題があります。また、研究は専門で分化した縦割り構造になる傾向がありますが、現代の複雑な社会課題を解決するためには組織の枠を超えた協創が必要であり、オープンイノベーション型の連携モデルが求められています。

従来の産学連携は、特定の企業と研究室が個別に契約を結ぶ「1対1型」が主流であったため、探索できる技術領域や連携の範囲に構造的な制限がありました。ZERO INSTITUTE では、この構造を刷新し、複数のスポンサー企業と、社会実装を志向する多様な研究分野（AI、フィジカル AI/ロボティクス、量子コンピュータ、宇宙空間の活用、ニューロサイエンス、ロンジェビティ等）の若手研究者が連携する「N対N型」の共創モデルを実装します。

今回参画したポーラ化成工業は、ZERO INSTITUTE で実施される研究プロジェクトの成果への包括的なアクセス権を持ちます（一部、企業との個別契約により機密保持が必要なプロジェクトを除く）。これにより、業界や専門分野の垣根を超えた広範な技術探索（ソーシング）や、異分野融合による予期せぬ化学反応を誘発し、既存事業の延長線上にない非連続なイノベーション創出を加速させます。

ポーラ化成工業: <https://www.pola-rm.co.jp/>

【スポンサー企業のコメント】

＜ポーラ化成工業株式会社＞

このたびのZERO INSTITUTE への参画により、ポーラ・オルビスグループが掲げる「多様化する美に応える個性的な事業の集合体」の実現に向けた共創に期待しております。従来の1対1の産学連携では得にくかった多様な知を結集し、参画企業や若手研究者とのN対N型の共創によって、Well-being 領域における新たな価値創造を加速してまいります。

■ ZERO INSTITUTE について

ZERO INSTITUTE は、2025年9月1日に東北大学に設置された、若手研究者のためのエコシステムです。常時、多様な分野で活躍する若手研究者が100名以上在籍するプラットフォームを目指しています。さまざまな研究分野で若手研究者と企業が共創し、未来に繋がる端緒をともに探索・発見することで、新たな産業を生み出し、世界規模の社会課題を解決するディープテック・スタートアップを創出するこ

とを目指します。グローバルに活躍する若手研究者との協働により、国際卓越研究大学である東北大学の先駆的な取り組みやネットワークを広げ、世界中の研究機関・組織と連携した国際頭脳循環を実現する一大拠点として進化させていきます。

ZERO INSTITUTE : <https://zero-institute.org/>

【運営体制】

本学責任者：遠山 毅（東北大学 理事 産学連携担当）

インスティテュート長：羽生 貴弘（東北大学 電気通信研究所 教授）

副インスティテュート長：渡邊 拓（東北大学客員教授 / 一般財団法人 ZERO Foundation 代表理事 / HERO Impact Capital General Partner）

【問い合わせ先】

東北大学総務企画部広報室

TEL : 022-217-4816

Email : press@grp.tohoku.ac.jp